



おなかの体操の歌で発声練習



指導者実演で振り付け指導



ソウをなでている演技、真剣です!

日光少年少女合唱団は、小学1年生〜高校生で構成され、毎月第2・4土曜日、日光公民館で練習しています。団員は現在54名で、宮地ゆみさん、佐藤由弥子さん、共にピアノリストの二人が指導しています。

取材の日は、3月25日に日光総合会館で上演するミュージカル「ぞうれっしやがやつてきた」のリハーサルの真っ最中で、熱のこもった練習をしていました。

団員の安西椎那さん(小学6年生・若杉)と、深谷つぐみさん(中学3年生・所野)、石塚悠有さん(中学3年生・所野)に、お聞きしました。

Q 入団のきっかけは?
A 小学1年生のとき、団員募集

のチラシを学校でもらったことです。歌が好きだったので、入団しました(安西さん)。

Q 合唱団の魅力は?
A 新入団員も、すぐ仲良くなれるところや、練習中もみんなの笑い声が絶えないところです(深谷さん)。

Q ミュージカル本番に向けた意気込みを聞かせてください。
A これからの練習で、細かいところを完成させていきます。今、自分ができることをやり遂げます。頑張ります(石塚さん)。

明るく情熱たっぷりの合唱団の団員の皆さん。さて、練習の成果は!?

どうぞ、17ページのフォトダイアリーをご覧ください!!

⑫ 日光少年少女合唱団(日光公民館)

参加者の声
公民館の教室・講座紹介

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL: 50-1200
ホームページ http://www.khmoan.jp/

(1枚につき、5名様まで有効)
小杉放菴記念日光美術館

切り取ってご利用ください

～開館15周年記念～
所蔵作品撰 part 1 - 小杉放菴

平成9年10月8日に開館した小杉放菴記念日光美術館は、今年、開館15周年を迎えます。これを記念し、所蔵する小杉放菴の作品の中から、よりすぐりの逸品の展示を行います。

最初の雅号、未醒(みせい)時代の洋画から、放菴と改号しからの日本画まで、生涯にわたる画業をご覧いただけますので、ぜひご来館ください。



小杉放菴「西遊記」
小杉放菴記念日光美術館所蔵

会 期：4月14日(土)～5月27日(日)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料

※()内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(市図書館隣) ☎0286-217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日



企画展紹介⑦
明治時代の教科書

この企画展では、明治時代の尋常小学校・高等小学校の教科書を中心に展示します。明治時代は教科書が成立し、その内容にさまざまな試行錯誤がなされ、その時どきの社会情勢や必要性を反映した教科書が多く刊行された時代でした。また、後の大正時代から昭和初期にかけての国家主義的色彩の強い教科書へ次第に変化していくという暗い側面も持っています。

明治時代の社会情勢や人々の価値観などについて理解が深まることにも、ここに展示した教科書が、現代の私たちの生活や社会についてより深く考えるための素材となることを期待します。

■企画展展示資料紹介「二宮金次郎について書かれた教科書」
二宮金次郎の存在が全国に知られるようになったのは、その業績や報徳運動よりも教科書によるところが大きいといわれています。



二宮金次郎が掲載されている教科書

◆企画展「明治時代の教科書」
6月17日(日)まで
◆博物館へ行こう
5月26日(土)
※詳しくは情報ナビ(27ページ)をご覧ください。

市民文芸

- 川柳 選者 日野原 元児
- 世間体少し気にして雪をかく 白土武夫
 - 消遣も満杯になり悩む日々 青木照雄
 - 夕風の海カンバスにする夕日 吉新勝夫
 - 出掛ったことば呑みこみ葱刻む 福田英子
 - 裏道に落ちてしまいました話 田中来川
 - 身の丈へ至福の毬を弾ませる 福田恒産
 - 訳知りの顔で噂がやって来る 大橋芳明
- 俳句 選者 須藤火珠男
- 血圧の正常値なり日脚伸ぶ 星野恒志
 - あちこちの新芽に元氣貫ひけり 白土武夫
 - 立ち止まる背中に温し二月の陽 徳本英子
 - 山笑ふ赤子泣き居る柚の家 渡辺ミチ子
 - 福寿草七ケも殖えて真盛り 鈴木キヌ子
 - 山雨来て木々の芽吹きを促せり 湯沢くに
 - 寒空や純白凜と梅ちらは 池田三夫

短歌 選者 阿久津伸一

- ゆつたりと大事に生きたい日のあれば時のものさし天に向けとこう 関根眞佐子
- 余寒なお続く夕べにあつ熱の甘酒母と飲みてほろ酔う 狐塚昭子
- 恙が身の苦しき夜はまなうらに虚妄の虹を架けて眠りき 名古屋佳子
- 震災の追悼の日よ言葉なくわれ合掌す涙流して 北崎 君
- 魚釣るわれの間近に鴨三羽睦み泳げり潜りては浮き 池田三夫
- 国難に堪えて八十路となりたるに高齢者には難しき世に 久保田節
- 吾れ植えし杉の木立ちよ強風にしきりに飛散す花粉を恨む 湯沢登久栄

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください。

なお、作品中の漢字には、ふりがなを明記してください。

応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135 FAX(21)5109